

国際経営学部 国際経営学科(国際経営コース)

科目/学年	1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位	合計単位
教養科目	基礎ゼミ	導入演習(国際経営)	1						40
		基礎演習(国際経営)	1						
	学際科目	大学史と別府大学	2	インターンシップ I	1	キャリア教育 II	2		
		キャリア教育 I	2						
	コア1	哲学	2	倫理学	2				
		心理学 I	2						
	コア2	スポーツと健康	2						
		法学(日本国憲法)	2						
	コア3	国際文化論1	2						
		国際関係論	2						
	コア4	数学基礎	2						
		情報リテラシー I	2						
	コア5	統計学	2						
		英語1	1	英語2	1				
外書講読	英語2	1	英語3	1					
	中国語基礎1	1	中国語コミュニケーション1	1					
外書講読	中国語基礎2	1	中国語コミュニケーション2	1					
	外書講読1	1	外書講読3	1					
小計	外書講読2	1							
小計	—	30	—	8	—	2	—	0	
専門関連科目	時事英語	2						0	
	欧州事情	2							
小計	—	4	—	0	—	0	—	0	
専門科目	学科専門科目	経営学の基礎	2	発展演習 I(国際経営)	1	専門演習 I(国際経営)	1	卒業演習 I(国際経営)	1
		会計学の基礎	2	発展演習 II(国際経営)	1	発展演習 II(国際経営)	1	卒業演習 II(国際経営)	1
		情報科学概論	2	商事関係法	2	国際マーケティング概論	2	日本の経営概論	2
				国際経済概論	2	国際経営概論	2	マーケティング戦略	2
				国際コミュニケーション	2	リスクマネジメント	2	企業統治(法と経営)	2
				マーケティング論	2	戦略マネジメント	2	経営と倫理	2
				経営学1	2	国際金融	2		
				経営学2	2	国際会計論	2		
				アジア経営	2	ソフトウェア利用論	2		
				経営分析	2	経営工学	2		
				簿記 I	1	管理会計1	2		
				簿記 II	1	管理会計 II	2		
				財務会計 I	2	証券経済	2		
				財務会計 II	2	貿易業務論	2		
				中国語経営 I	2	上級国際経営論(英語) I	2		
						上級国際経営論(英語) II	2		
						監査論	2		
小計	—	6	—	26	—	32	—	16	
合計	—	40	—	34	—	34	—	16	
124									
主要科目1	科目名	経営学の基礎	国際コミュニケーション	国際金融	マーケティング戦略				
	特徴	経営学は企業が直面する問題の解決を目指す学問として発展してきたように、企業の様々な側面を考察する学問である。そこで、企業は誰のものなのか、経営者とそこで働く人々との関係などを学習し企業とはどのようなものか学ぶ。	世界の社会・文化を知るために、現在起きている事例を紹介し、それについて議論し、考えていく機会を持つ。	国際的な長短金融市場および外国為替市場等について、理論的側面だけでなく、実践的な経済・経営事情も講義する。特に、金融市場が実物市場に与える最近の経済構造や仕組みについて詳細な解説を行う。	マーケティング戦略の中核である価格戦略、流通チャネル戦略、プロモーション戦略などに加え、ソーシャル・マーケティング、関係性マーケティング、ファッション・マーケティングについても検討する。				
目的	企業というものを理解したうえで、国際経営について更に深く考えるための基礎的な資質を身に付ける。	グローバル社会に突入した現在、世界の情勢を知り、それらの実態を見極める力を養う。	企業業績と為替や金利、株価の水準などの国際金融市場の動向との関連を総合的に深く理解し、企業を俯瞰的かつ総合的に観察する能力を培う。	経営管理者や地域の活性化に貢献する意欲を持つリーダーになるための、マーケティング視点からの経営判断力や市場分析力を開発する。					
主要科目2	科目名	会計学の基礎	アジア経営	経営工学	日本の経営概論				
	特徴	会計学とは何か、会計学が現在なぜ必要なのかを学んでいく。特に、計数的な意味を理解することが重要なため、「簿記」を修得することに重点を置く。	アジア経営を通して経営の基礎構造と現代の経営の仕組みを理解する。要領を遂げつつあるアジア企業の動向をつかみ、日本企業とアジア企業との関係を明らかにする。	人・もの・金・情報などの企業の経営資源を効果的に経営成果に結びつけるための統合的なシステム設計を行う。そのシステムから得られる結果を評価するために、工学的なアプローチと共に数学や社会科学の専門知識などを用いる。	日本の経営の三種の神器といわれた「終身雇用」「年功序列」「企業内組合」が、日本企業の強さの源泉とされてきた歴史と、現代の日本の経営を具体的な事例で学ぶ。				
目的	会計の機能、利益計算の方法、会計原則と会計基準、国際財務報告基準、貸借対照表、損益計算書、キャッシュフロー計算書など、会計学の基礎知識を身に付ける。	まずアジアへの関心を高めてもらうこと。将来アジアで企業経営に携わった場合にも役に立つ考え方や分析力を開発する。	経営工学の概要を理解し、システム設計・評価に関わる科学的なアプローチの習得を目指す。	日本の経営の系譜と現状を具体的な企業の事例によって把握し、これからの日本の経営と日本企業に学んでいる外国企業の経営の特長について考える力を身に付ける。					

国際経営学部 国際経営学科(会計・税理士コース)

科目/学年	1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位	合計単位
教養科目	基礎ゼミ	導入演習(国際経営)	1						40
		基礎演習(国際経営)	1						
	学際科目	大学史と別府大学	2	インターンシップ I	1	キャリア教育 II	2		
		キャリア教育 I	2						
	コア1	哲学	2	倫理学	2				
		心理学 I	2						
	コア2	スポーツと健康	2						
		法学(日本国憲法)	2						
		国際文化論1	2						
	コア3	国際関係論	2						
		数学基礎	2						
	コア4	情報リテラシー I	2						
		統計学	2						
コア5	英語1	1	英語3	1					
	英語2	1	英語4	1					
	韓国(中国)語基礎1	1	韓国(中国)語コミュニケーション1	1					
	韓国(中国)語基礎2	1	韓国(中国)語コミュニケーション2	1					
外書講読	外書講読1	1	外書講読3	1					
	外書講読2	1							
小計	—	30	—	8	—	2	—	0	
専門関連科目	時事英語	2							84
	英会話1	1							
小計	—	3	—	0	—	0	—	0	
専門科目	学科専門科目	経営学の基礎	2	発展演習 I(国際経営)	1	専門演習 I(国際経営)	1	卒業演習 I(国際経営)	1
		会計学の基礎	2	発展演習 II(国際経営)	1	発展演習 II(国際経営)	1	卒業演習 II(国際経営)	1
		情報科学概論	2	商事関係法	2	国際マーケティング概論	2	企業統治(法と経営)	2
				国際経済概論	2	国際経営概論	2	経営と倫理	2
				国際コミュニケーション	2	リスクマネジメント	2		
				経営学1	2	戦略マネジメント	2		
				経営学2	2	国際金融	2		
				商業概論	2	国際会計論	2		
				経営分析	2	ソフトウェア利用論	2		
				簿記 I	1	財務諸表論	2		
				簿記 II	1	原価管理	2		
				工業簿記論	2	管理会計1	2		
						管理会計 II	2		
				会計学 I	2	管理会計 II	2		
				会計学 II	2	税務会計	2		
				簿記実習	1	上級国際会計論(英語) I	2		
				原価計算	2	監査論	2		
				財務会計 I	2	人的資源会計	2		
				財務会計 II	2				
		小計	—	10	—	27	—	32	—
合計	—	43	—	35	—	34	—	12	
主要科目1	科目名	会計学の基礎	会計学 I・II	管理会計 I・II	卒業演習 I・II(国際経営)				
	特徴	会計学の基礎的理論を世界経済の流れを踏まえながら学習します。	我が国の会計基準および国際財務報告基準(IFRS)の理論体系を学習します。	管理会計の各種理論と計算技法を実践的に学習します。	ゼミ担当教授の指導を受けながら、卒業論文を作成します。				
主要科目2	科目名	簿記 I・II	財務会計 I・II	税務会計	卒業論文				
	特徴	企業の経済活動を記録・計算し、財務諸表で報告する技術をマスターします。	財務諸表の作成・理解を主体に理論・実践面から学習します。	法人税法の規定を理論と計算の両面から実践的に学習します。	ゼミ担当教授の指導を受けながら、卒業論文を作成します。				
主要科目2	科目名	簿記 I・II	財務会計 I・II	税務会計	卒業論文				
	特徴	日商簿記検定試験3・2・1級の合格を目指します。	財務諸表を作成し、その内容の理論的解釈方法を習得します。	法人税法の規定による課税所得と納税額の計算構造を習得します。	4年間の大学での学習の成果を卒業論文としてまとめます。				

国際経営学部 国際経営学科(観光経営コース)

科目/学年	1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位	合計単位	
教養科目	基礎ゼミ	導入演習(国際経営)	1						40	
		基礎演習(国際経営)	1							
	学際科目	大学史と別府大学	2	インターンシップ I	1	キャリア教育 II	2			
		温泉学概論	2							
	コア1	キャリア教育 I	2							
		日本文化史	2							
		心理学 I	2							
	コア2	スポーツと健康	2							
		法学(日本国憲法)	2							
		国際文化論1	2							
	コア3	国際関係論	2							
		数学基礎	2							
	コア4	情報リテラシー I	2							
		統計学	2							
	コア5	英語1	1	英語2	1					
		英語2	1	英語3	1					
韓国語基礎1		1	韓国語コミュニケーション1	1						
韓国語基礎2		1	韓国語コミュニケーション2	1						
外書講読	外書講読1	1	外書講読3	1						
	外書講読2	1								
小計	—	32	—	6	—	2	—	0		
専門科目	専門関連科目	時事英語	2						84	
		欧州事情	2							
		地理学概論	2							
	小計	—	6	—	0	—	0	—		0
	学科専門科目	経営学の基礎	2	発展演習 I(国際経営)	1	専門演習 I(国際経営)	1	卒業演習 I(国際経営)		1
		会計学の基礎	2	発展演習 II(国際経営)	1	発展演習 II(国際経営)	1	卒業演習 II(国際経営)		1
		情報科学概論	2	商事関係法	2	国際マーケティング概論	2	日本の経営概論		2
				国際経済概論	2	国際経営概論	2	マーケティング戦略		2
				国際コミュニケーション	2	リスクマネジメント	2	国際観光マーケティング		2
				経営学1	2	戦略マネジメント	2	経営と倫理		2
				経営学2	2	国際金融	2			
				商業概論	2	国際会計論	2			
				観光経営論	2	ソフトウェア利用論	2			
				観光戦略政策	2	ホスピタリティ経営管理	2			
				国際観光経営	2	上級国際観光経営(英語) I	2			
				カルチャーマネジメント	2	上級国際観光経営(英語) II	2			
			経営分析	2	地域政策	2				
		簿記 I	1	地域文化論	2					
		簿記 II	1	観光地理	2					
		会計学 I	2							
小計	—	6	—	28	—	28	—	16		
合計	—	44	—	34	—	30	—	16		
主要科目1	科目名	地理学概論	観光戦略政策	観光地理	国際観光マーケティング					
	特徴	人の居住空間を対象として、自然環境と周辺地域との関わりの中で生活空間を築いていくプロセスを解き明かしていきます。その中で、世界各地の生活・文化について学びます。	国内外の観光地域を取り上げ、その地域が観光地として成り立っていくプロセスを解き明かします。そして、そのプロセスにおいてどのような戦略が用いられ、政策が築かれていったのか検討していきます。	観光地とは、人がある空間に特定の価値を付けることによって形成されます。その観光地(空間)に対してどのような分析がなされてきたのか紐解きます。さらに「人は何故観光(旅)をするのか」についてどのように考えられてきたのか、についても考察していきます。	観光産業の主要業種について国際市場への参入・浸透戦略としてのマーケティングの意義と手法について多くの事例を検証しつつ学ぶ。マーケティングとの関連でホスピタリティ・マネジメントに光をあてる。					
	目的	世界各地の成り立ちを学ぶことによって、「世界を知る」という観光を学ぶ基本的な知識の習得を目的とします。	これまで築き上げられてきた観光地域形成の事例を学ぶことによって、これからの観光地形成に必要な視点と価値観を考察する力を培うことを目的とします。	観光地(空間)に関するこれまでの学問的分析を理解することで、人を引き付ける魅力的な空間について理解し、これからの観光地形成について理論的に考察する足掛かりを得ることを目的とします。	内外の旅行会社、宿泊業、交通事業、テーマパーク、イベント企画業などの国際的な市場分析、セグメントの発見、持続的優位の維持等のプロセスに精通することを目指す。					
主要科目2	科目名	経営学の基礎	観光経営論	上級国際観光経営(英語) I	マーケティング戦略					
	特徴	経営学は企業が直面する問題の解決を目指す学問として発展してきましたように、企業の様々な側面を考察する学問です。そこで、企業は誰のものなのか、経営者として働く人々との関係などを学習し、企業とはどのようなものか学びます。	観光産業のおもな業種が国境を越えどのように連携しているか、異質で複雑な環境でどのような経営を行っているかを学びます。基礎的な国際マーケティング手法、企業が優位に立たための特徴、経営組織等を調べ、国際標準のホスピタリティ・マネジメントに光をあてます。	観光関係のビジネスモデルはアメリカで開発され、グローバル化しているものが多い。従って、日本を含め、世界で用いられる観光経営用語は現地語に翻訳されることなく、英語のまま使用されているものが大多数である。本科目では、これらを用いて観光と観光産業につき学ぶ。	市場における顧客のニーズに応える販売計画のためにいかに市場調査、製品計画、生産計画を作成するかについて考え、市場への接近、市場とのコミュニケーションについて戦略的に考える。					
	目的	企業というものを理解したうえで、観光業界について更に深く考察する基礎的な実質を身につけることを目的とします。	観光産業の諸分野で国際的な旅行者の動きを支える業務において、広い視野とリアルタイムかつ具体的な知識に基づいて活躍できる人材を養成する。	多国籍ホテルチェーン、旅行会社、航空会社、テーマパークなどの経営を中心に英語を多く使って学ぶことにより、それらの企画部門、マーケティング担当部門の業務に有効な知識、能力を修得する。	科目の特徴に沿って、市場における供給体制の構築、企業活動の戦略的な計画・統制について知識を得て、戦略にかかわるマーケティング・リサーチ、広告宣伝、マーケティング・リスクについて学ぶ。					